

. 海外経済

		2019年8月	2019年9月
世界経済		世界の景気は、全体としては緩やかに回復しているが、アジアやヨーロッパの中に弱い動きがみられる。先行きについては、全体としては緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題を巡る緊張の増大、中国経済の先行き、政策に関する不確実性、金融資本市場の変動等によるリスクに留意する必要がある。	世界の景気は、全体としては緩やかに回復しているが、アジアやヨーロッパの中に弱い動きがみられる。先行きについては、全体としては緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題を巡る緊張の増大、中国経済の先行き、政策に関する不確実性、 <u>原油価格の上昇</u> や金融資本市場の変動等によるリスクに留意する必要がある。
アメリカ		アメリカでは、景気は回復が続いている。先行きについては、回復が続くと見込まれる。ただし、米中間の通商問題を巡る緊張の増大の影響、今後の政策の動向及び影響、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要がある。	アメリカでは、景気は回復が続いている。先行きについては、回復が続くと見込まれる。ただし、米中間の通商問題を巡る緊張の増大の影響、今後の政策の動向及び影響、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要がある。
アジア地域	中国	中国では、景気は緩やかに減速している。先行きについては、当面は緩やかな減速が続くことが見込まれるが、各種政策効果が次第に発現することが期待される。ただし、米中間の通商問題を巡る緊張の増大の影響、過剰債務問題への対応、金融資本市場の変動の影響等によっては、景気が下振れするリスクがある。	中国では、景気は緩やかに減速している。先行きについては、当面は緩やかな減速が続くことが見込まれるが、各種政策効果が次第に発現することが期待される。ただし、米中間の通商問題を巡る緊張の増大の影響、過剰債務問題への対応、 <u>原油価格の上昇</u> や金融資本市場の変動の影響等によっては、景気が下振れするリスクがある。
	その他アジア	韓国では、景気は弱い動きとなっている。台湾では、景気はこのところ緩やかに回復している。インドネシアでは、景気は緩やかに回復している。タイでは、景気はこのところ弱い動きとなっている。インドでは、景気回復は緩やかになっている。	韓国では、景気は弱い動きとなっている。台湾では、景気はこのところ緩やかに回復している。インドネシアでは、景気は緩やかに回復している。タイでは、景気はこのところ弱い動きとなっている。インドでは、景気はこのところ弱い動きとなっている。
ヨーロッパ地域	ユーロ圏	ユーロ圏では、景気は緩やかに回復しているものの、一部に弱い動きがみられる。ドイツでは、景気はこのところ足踏み状態にある。先行きについては、基調としては緩やかな回復傾向で推移することが期待される。ただし、通商問題を巡る緊張の増大が世界経済に与える影響、政策に関する不確実性の影響等によっては、景気が下振れするリスクがある。	ユーロ圏では、景気は緩やかに回復しているものの、一部に弱い動きがみられる。ドイツでは、景気はこのところ足踏み状態にある。先行きについては、基調としては緩やかな回復傾向で推移することが期待される。ただし、通商問題を巡る緊張の増大が世界経済に与える影響、政策に関する不確実性の影響等によっては、景気が下振れするリスクがある。
	英国	英国では、景気は弱い回復となっている。先行きについては、弱い回復が続くと見込まれる。ただし、EU離脱問題の動向によっては、景気が下振れするリスクがある。	英国では、景気は弱い回復となっている。先行きについては、弱い回復が続くと見込まれる。ただし、EU離脱問題の動向によっては、景気が下振れするリスクがある。

(注) 下線部は先月から変更した部分。